

奥多摩活性化プロジェクト「みんなで作る奥多摩」活動報告①②

松本祐一ゼミ経営企画部

大澤 舜

奥山大翼

菱山友希

笠原 涼

はじめに

多摩大学松本祐一ゼミは、将来起業や商品開発を仕事にしたい学生を対象とした超実践的な「事業開発ゼミ」である。現在、東京都奥多摩町の活性化をテーマに、若者が奥多摩に住みたくなるような仕組み（事業）づくりを、住民や関係者と一緒に目指す「みんなで作る奥多摩」を統一コンセプトに掲げて、ゼミ内を3つの事業部に分けて活動している。今回は、それぞれの事業部の今年度の活動について報告する。

ガチャポン事業部

奥多摩町の知名度向上、若者向けへのお土産を開発すべく「奥多摩ガチャポン」を設置し活動してきた。前年度同様、奥多摩駅2階「ポート奥多摩」で販売するだけでなく、町議会議員の協力を得て川井駅前に機械を移設し、奥多摩ガチャポン第二弾を販売した。また、奥多摩ガチャポン第三弾に向けて、商品を企画し奥多摩の店舗にアポ取りをした。現在、商品の発注や奥多摩のお店で使えるクーポン、ポスター、商品のラインナップ、などを作成して、来年度からの販売に向けて準備している。

イベント事業部

奥多摩町の知名度向上のための催事を開催すべく活動してきた。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため対面イベントが制限されたが、今年度は、対面イベントを3月末に開催する予定で準備している。春学期にはオンライン上で募集をし、フォトコンテストを開催した。秋学期はカヌーに関する動画コンテンツを活用した対面イベントの企画立案から協力先の選定等、実現に向けて活動中である。

スーパー事業部

奥多摩町へ町民や観光客、関係人口のための「多機能型地域活性化拠点」の設立に向け活動してきた。春学期は拠点に備える機能の検討や、認知獲得のため、SNS、ゼミの公式サイトを利用した情報発信を行った。今学期は、拠点の設立に向けた具体的な企画として、設立時の資金の一部を調達するための「クラウドファンディング」の立ち上げや、まちで飲食店等を運営する『人』にフォーカスした「コミュニティマップ」を作成し、認知度向上、また地域との親交を深めることを目的とした企画を進行している。